令和6年度第3回札幌方面栗山警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和7年2月28日（金）午後1時30分から午後2時55分まで

2 開催場所

栗山警察署 大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 7人(定員8人)

会 長 成 田 正 夫

副 会 長 小 川 実千代

委 員 樋 口 千栄子、坂 口 由紀子、服 部 まゆみ、

水 野 智勉子、河 合 高 弘

(2) 警察署員 9人

署 長 原 琢 将

副 署 長 東 畠 弘 樹

夕張庁舎所長 瀬 川 之 泰

警務課長 齊 藤 英 雄 (庶務担当)

生活安全課長 佐 藤 陽 美

地域課長 齋 藤 淳 郎

刑事課長 八 條 秀 俊

交通課長 高 梨 祐 祐

警備課長 小 川 拓 也

4 会長挨拶

5 署長挨拶

6 業務説明

(1) 管内犯罪発生状況について

(2) 交通事故の現状について

7 協議テーマ「SNS型投資・ロマンス詐欺やインターネットの脅威に対する警察の取組」について

パワーポイントを利用して、犯行の手口、発生状況、抑止対策等を説明

8 質疑応答

(1) 業務説明、協議テーマに関する質疑

委員： 正規業者を装う偽サイトに騙されないための対策はあるか。

警察： サイト上に添付されたファイルやアイコンからではなく、自分で公式サイトを調べ直しアクセスすることで正規なものか否か判断できる。

委員： 「+」から始まる電話番号から自動音声で「答えなければ銀行やクレジットカードを停止する」との内容の詐欺電話は、対処方法を知らないと被害に遭う可能性が高く、警察で多くの住民にこうした手口を知らせるためにどういう取組をしているのか。

警察： 北海道警察では防犯アプリ「ほくとポリス」やユーチューブなどで住民に向けて発信している。

栗山警察署でも警察官が会合等に赴いての講話や、年金支給日・催事等でのキャンペーン活動を行っているほか、ほくとくん防犯メールやホームページ、交番・駐在所のミニ広報紙による記事掲載、各自治体が発行する

広報誌、デジタルサイネージへの掲載依頼、さらにコミュニティFMラジオの番組内で情報発信を依頼するなど広く住民への周知活動を行っている。

委員： 自分の周りにも、詐欺の手口や「ほくとアプリ」等の警察の取組を知らない人が多くいるので、さらに周知活動を強化して欲しい。

警察： 今後もしようすればより多くの人に情報を伝えられるかを考え、あらゆる機会を捉えて活動を継続する。

(2) 事前アンケートに対する回答

ア 警察相談ダイヤルについて

委員： 警察相談ダイヤル「#9110」の利用について教えて欲しい。

警察： 警察相談ダイヤルではストーカー、家庭内暴力、悪質商法などの未然防止など生活の安全と平穏に関する相談や警察業務に対する要望・意見、苦情等を24時間受け付けている。

110番通報は直ちに警察官の臨場を求めるような緊急の事件事務で利用される一方、警察相談ダイヤルは緊急の対応を必要としない場合の利用とされている。

イ 学生に対する「闇バイト」対策について

委員： 警察では中学生や高校生に対して、「闇バイト」に関わらせないための指導をどのように行っているのか。

警察： 管内の高校、中学校、教育委員会等と協力して、生活安全課員が直接学校まで赴き、闇バイト勧誘の手口や関わったことで人生を狂わせた若者の事例を話す、啓発用動画の視聴などを授業の一環として行っている。

ウ 高齢者への不審電話対策について

委員： 一人暮らしのお年寄りが詐欺の電話に騙されないための対策は。

警察： 警察では各家庭を直接訪問し住人の方に防犯指導等を行う巡回連絡のほか、パトロール中の立ち寄り等、高齢の方と直接対話しながら見回りを行っている。こうした活動に際しては、電話機の近くで直ぐ目に付くような注意喚起用のグッズを配るなどして、ひとりで悩まず警察に相談するよう呼びかけを行っている。

エ 防犯カメラの設置状況について

委員： 栗山署管内に何台ぐらいの防犯カメラが設置されているのか。

警察： 警察では管内に数百台の防犯カメラ設置されている事を把握しているが、正確な台数までは答えられない。

防犯カメラの設置は犯罪の防止に繋がり、記録された画像は被疑者の検挙に繋がるため、警察では日々、設置場所を把握して管理者の方に協力を依頼する活動を続けている。

9 次回の開催予定

令和7年度第1回協議会は6月頃の開催で一致した。